

■社会貢献・連携事業

◎大学コンソーシアム大阪と大阪府・市・商工会議所による共同事業

## 大阪の社会的・地域課題に対応する連携・交流の場を創出

関西大学が積極的に参画し、取り組みを進めてきた「大阪府内地域連携プラットフォーム」が、2018年度文部科学省私立大学等改革総合支援事業(タイプ5:プラットフォーム形成)に採択された。

18年9月に設置した本プラットフォームは、大学コンソーシアム大阪(会員42大学)と大阪府、大阪市、大阪商工会議所により構成される、産官学連携の活動基盤。大阪の社会的・地域課題に対応する連携・交流の場を創出し、活力ある大阪の再生に取り組むことで、在阪の大学生の活躍を促し、大阪発展の基盤となる人的ネットワークを構築することを目的とする。

今後は、高大連携・接続の強化や、在阪企業や官公庁等とのインターンシップ拡充、受入留学生が安心して生活、修学、就職できる環境の整備等、さまざまな活動を予定。21年まで続くゴールデン・スポーツイヤーズや25年に開催される大阪・関西万博等の国際イベントをはじめ、国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)への取り組み等を好機と捉え、国



内外へ大阪の文化や魅力を発信し、国際競争力の向上や人材育成にも努めていく。また、6月1日には本プラットフォーム設置を記念し、公開講座を梅田キャンパス

にて開催予定。「2025大阪・関西万博」を視野に入れながら、大阪の魅力創出に向けた産官学連携の在り方について、講演が行われる。

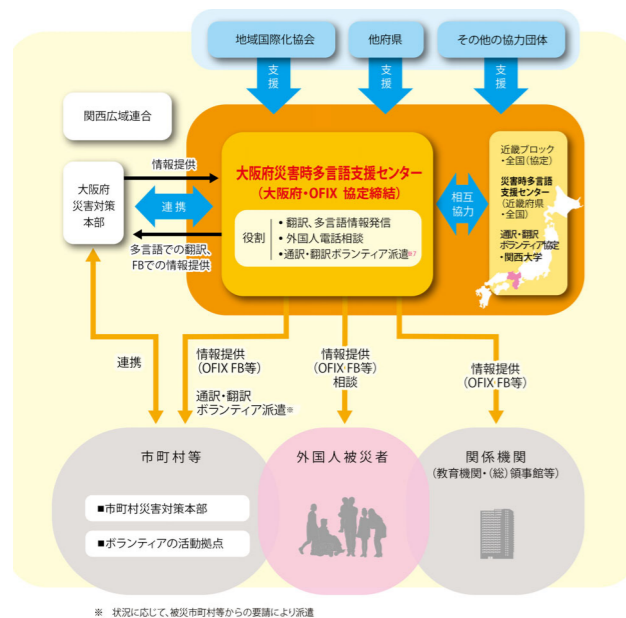
◎大阪府、大阪府国際交流財団(OFIX)と災害時通訳・翻訳ボランティアに関する連携協定を締結

## 外国人に向けた災害時の多言語サポート

日本に在住している外国人の中には、日本語が不自由だったり、日本の生活環境に不慣れだったり、災害の経験が乏しい人が多く存在する。そこで、関西大学と大阪府、及び公益財団法人大阪府国際交流財団は、災害時における大阪在住外国人等への多言語支援を行うため、ボランティアでの通訳・翻訳が可能な人材の確保等に関する「大阪府・学校法人関西大学・公益財団法人大阪府国際交流財団の間における災害時通訳・翻訳ボランティアの確保等に係る連携協定」を締結した。大阪府が大学との間でこのような協定を締結するのは、今回が初となる。

関西大学は今後、学生や教職員等に対し、当該ボランティアへの登録の呼びかけや取りまとめを行うと共に、大学の施設内でのボランティア研修等の開催に協力していく。

◀災害時通訳・翻訳ボランティアの概念図



◎田辺市に「関西大学SDGsラーニングラボ」開室

## 熊野の自然や文化を学び、持続可能な世界の実現を



関西大学 SDGsラーニングラボの看板を除幕して握手する安井健太・本宮行政局長(左)と人間健康学部・岡田忠克教授(右)(©伊藤民報)

関西大学は、和歌山県田辺市本宮町の本宮行政局内に「関西大学SDGsラーニングラボ」を開室し、3月21日、記念式典を挙行了。SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年国連サミットで採択された国際目標で、30年に向けて、すべての国が貧困や差別の解消、環境保全など17の目標に取り組むよう求められている。

関西大学は、12年から堺市の小学生が本宮町でさまざまな体験学習をする「熊野本宮子どもエコツアー」を開催。16年には和歌山県が進める「大学のふるさと協定」の趣旨に賛同し、田辺市と協定を締結。学生が祭りやイベントに協力するなど、交流を深めてきた。今後は、人間健康学部の岡田忠克教授がプロジェクトリーダーとしてラボの運営にあたり、同学部の学生らが熊野の自然や歴史、文化などを調査・研究。SDGsの実現に向けた提言や、地球の未来を考える体験プログラムの開発にあたる。また、今年度から、熊野地域の農業や林業に触れる新たな研修プログラムの開発や、地球の未来への関

わり方を考えるプロジェクト「若者のためのSDGs in 熊野」、「熊野の自然を活かした新たな宗教ツーリズム」についてのシンポジウムなどの活動も開始し、研究や打ち合わせ、イベント準備などにラボを活用していく。

▼熊野本宮子どもエコツアー



◎TSUTAYAとのコラボレーションによる21世紀型学び舎

## 「T-KIDSシェアスクール 梅田 KANDAI Me RISE」を開校



関西大学と株式会社関西TSUTAYAは3月、関西大学梅田キャンパス「KANDAI Me RISE」に、「T-KIDSシェアスクール 梅田 KANDAI Me RISE」を開校した。

2017年、千葉県柏市にてスタートした「T-KIDSシェアスクール」は、従来の「教わる→勉強する」スタイルではなく、「ワクワクする→学ぶ」ことを大切にしたい新しいスタイルの学び舎。これまでの教育のカチを超えて、テクノロジーや探求・理数、英語・外国語、文化・芸術、フィジカルといった個性溢れるクラスを展開している。

その国内2校目となる「T-KIDSシェアスクール 梅田 KANDAI Me RISE」は、「子どもが未来をつかむ場所」がコンセプト。プログラミングやYouTuber教室、アート、理科実験、子ども哲学、宇宙教室などのクラスを展開し、「知識詰め込み型」とは異なる「21世紀型の教育」にチャレンジする講師陣が、それぞれ工夫を重ねた学びを提供する。また、クラスはすべて少人数制で、アクティブラーニング型の学習スタイルを採用。一人一人の興味や好きなことをより伸ばしながら、子供が自ら考え表現することを促していく。3月3日のオープンイベントには500人を超える家族が参加し、多様な学びの体験に目を輝かせていた。